

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科昼間部		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	言語聴覚療法技術論Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時間	前期 月曜3限	教室名	4校舎301
担 当 教 員	小川、矢部、山本、酒井、丸山	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
臨床実習を想定し、検査の実施方法や評価につながる考え方を学ぶ						
《成績評価の方法と基準》						
学期末テスト※において60%以上の得点をもって合格とする。 ※OSCE(客観的臨床能力試験)50%、筆記試験50%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
配布資料(各検査のマニュアル含む)						
《授業外における学習方法》						
授業後の復習として、検査道具を用いた検査の実施練習を行うことが重要である。						
《履修に当たっての留意点》						
臨床実習では実際の患者様に検査を実施し、評価を行う。授業内でも検査演習を行うが、復習と合わせて着実に技術の習得をすすめていくことが必要である。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	HDS-Rの内容を理解し、実施できる。	配布資料	該当検査のマニュアルや配布資料を読み、内容・手順を確認する。	
		各コマにおける授業予定	HDS-R(改定長谷川式簡易知能評価スケール)			
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	MMSE-Jの内容を理解し、実施できる(1)。	配布資料	該当検査のマニュアルや配布資料を読み、内容・手順を確認する。	
		各コマにおける授業予定	MMSE-J(Mini-Mental State Examination日本版)			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	MMSE-Jの内容を理解し、実施できる(1)。	配布資料	該当検査のマニュアルや配布資料を読み、内容・手順を確認する。	
		各コマにおける授業予定	MMSE-J(Mini-Mental State Examination日本版)			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	Kohs立方体組合せテストの内容を理解し、実施できる。	配布資料	該当検査のマニュアルや配布資料を読み、内容・手順を確認する。	
		各コマにおける授業予定	Kohs立方体組合せテストの内容を理解し、実施できる。			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	RCPMの内容を理解し、実施できる。	配布資料	該当検査のマニュアルや配布資料を読み、内容・手順を確認する。	
		各コマにおける授業予定	RCPM(レーブン色彩マトリクス検査)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	これまで学んだ検査を適切な手順で実施できる(1)	配布資料	該当検査のマニュアルや配布資料を読み、内容・手順を確認する。
		各コマにおける授業予定	HDS-R/MMSE-J/Kohs/RCPM		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	これまで学んだ検査を適切な手順で実施できる(2)	配布資料	該当検査のマニュアルや配布資料を読み、内容・手順を確認する。
		各コマにおける授業予定	HDS-R/MMSE-J/Kohs/RCPM		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	BIT行動性無視検査の内容を理解し、実施できる。	配布資料	該当検査のマニュアルや配布資料を読み、内容・手順を確認する。
		各コマにおける授業予定	BIT行動性無視検査		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	SPTAの内容を理解し、実施できる。	配布資料	該当検査のマニュアルや配布資料を読み、内容・手順を確認する。
		各コマにおける授業予定	SPTA(標準高次動作性検査)		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	VPTAの内容を理解し、実施できる。	配布資料	該当検査のマニュアルや配布資料を読み、内容・手順を確認する。
		各コマにおける授業予定	VPTA(標準高次視知覚検査)		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	インリアル・アプローチの基本を述べることができる。	配布資料	資料を読み、内容や⑦実施方法を確認する。
		各コマにおける授業予定	インリアル・アプローチ		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	S-S法の内容を理解し、実施できる(1)	配布資料	該当検査のマニュアルや配布資料を読み、内容・手順を確認する。
		各コマにおける授業予定	国リハ式 <S-S法> 言語発達遅滞検査		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	S-S法の内容を理解し、実施できる(2)	配布資料	該当検査のマニュアルや配布資料を読み、内容・手順を確認する。
		各コマにおける授業予定	国リハ式 <S-S法> 言語発達遅滞検査		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	会話の基本技法を用いて、年代に応じた自由会話を実施できる(1)	配布資料	自由会話の資料準備を行い、実施する。
		各コマにおける授業予定	自由会話		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	会話の基本技法を用いて、年代に応じた自由会話を実施できる(2)	配布資料	自由会話の資料準備を行い、実施する。
		各コマにおける授業予定	自由会話		